

# 令和2年度 駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

令和3年2月22日

1 こども園の教育目標 …明るく素直な子

- ・思いやりのある子
- ・進んで運動や遊びに取り組む
- ・自分で考え、のびのび表現できる子

2 本年度の重点目標 …夢中になって遊ぶ子

- 0歳児 安心して過ごす
- 1歳児 生活リズムを心と体で覚える
- 2歳児 安心できる環境の中で生活(遊び)に興味を示す
- 満3歳児 園生活(遊び)を楽しむ
- 年少児 友達と楽しく遊ぶ
- 年中児 遊びに喜んで取り組む 友達と楽しく活動する
- 年長児 進んで活動に取り組む、最後までやり通す  
感じた事・考えた事を表現する

※評価点 4(十分に成果があった)・3(成果があった)・2(少し成果があった)・1(成果がなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			園としての反省と改善点	学校関係者評価委員
		H30	R元	R2		御意見
1. 教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3	3	3.3	・自分自身が明るく、夢中になって遊べるよう努力している。 ・すすく・わくわく部の子どもたちが十分に外遊びやホールで遊べるよう日程調整や予定把握をしたい。	<p>・コロナ禍でも先生方が志高く保育に向き合っている姿が伝わってきた。ほぼ全てにおいて評価が上がっていることは意識の高さの表れであり「10の姿」を目標にする姿勢が素晴らしいと感じた。</p> <p>・コロナ禍ということもあり例年以上に園での活動に力を入れてきたことが、数字を見てわかった。こんな特別な年だからこそ、色々工夫して他学年との交流や野外でも活動、行事等を考えてくれ保護者としてすごく有難い。「10の姿」という言葉は初めて聞いたので、保護者にもこういう情報を伝えてくれるとより一層園への関心が高まると思う。</p> <p>・小学校との接続も含めて様々な体験により子どもたちの可能性を広げていると思う。3年間で皆大きく育っていると感じる。</p> <p>・2-④にも関係することですが、コロナ禍(ウイズコロナ)の状況では、従来通り行っていくことは無理に思います。今までを見直し、精選等の良いチャンスととらえ、できる範囲で無理のないようにやっていけばよいのではないかと思います。</p> <p>・小学校も保・幼との連携の必要性を感じている。職員も子どもも交流できるようになれば幸いです。</p> <p>・教育方針は認識するまでに時間を要し関心も薄いのに、全項目で評価が向上している。これは、学校経営の理念が職員に周知されていると同時に適切な方針になっているからである。子どもの姿から高い評価に繋がってきていると思われる。</p>
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3	3	3.1	・コロナ禍で外部での研修の場も少なくなり、自ら教育・保育要領について学ぶことは出来なかった。 ・たくさん遊び友だちとの関わりを深めたり、遊びに対して考えたりして遊ぶ時間を確保した。	
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3	3	3.2	・今年はコロナ禍で他の学年との交流が少なく、もっと園全体で活動出来るようになりたい。 ・毎月の月案を立てる際、過去の物や園の教育目標を参考に考えた。	
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3	3	3.4	・クラス、学年の子どもの実態に合わせた活動が出来るよう心がけた。	
	⑤子どもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3	3	3.3	・今、子どもたちが何に興味があるのか、何をあげたいかなどを考え、環境を整えるようにしている。 ・子どもの目線や動線に合わせた環境作りをしているが教材など不足も多く満足のいく設定は出来ていない。	
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している	3	3	3	・10の姿を目標としないよう、振り返りの時、この成長は10の姿のどの項目か考えるようにしている。10の姿は、日々丁寧な保育・教育をしていることで、自ずとあとからついてくると考えている。	

2. 保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめている	4	4	3.7	・視診後、普段と違う様子が見られた際は連絡ノートを確認したり、養護教諭に相談したり、都度適切な対応をした。 ・乳児は平熱が高い子が多いため、37.5度の区切りが少し難しい時があった。	<p>・コロナ禍の中、思うような行事や活動ができず計画変更等、大変な年だったと思います。が、この数字を拝見すると職員の皆さんの一生懸命な様子が現れています。</p> <p>・自由遊びの時間が結果的に子どもたちの感受性や自主性、社会性を育むことに繋がるようなので、芝生で心を全開にして走り回れるような時間ももっと増えたら、更に「明るく素直な子」に近づくのでは。</p> <p>・違うクラスの先生たちも子どもたちの情報等を把握してくれ、声を掛けてくれるので、ランド等も安心して預けることができる。他の園はわからないが、駿河台こども園の先生方は一人ひとりをしっかり見てくれていると思う。</p> <p>・コロナ禍にあり例年以上に子どもたちの体調管理に心を砕いていただけだと思う。子どもが自ら感染予防の意識がもてるように指導していただきたい。</p> <p>・④が下がっていることから評価の精度が高いことが伺える。⑤は、その時間の確保や交流時間の設定が求められる。</p>
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	4	4	3.5	・成長は様々なので、その子にあった問いかけや関わり方をしよう心がけている。	
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、子どもの自主性・自発性を大切にしている	3	3	3.3	・活動の必要性をよく判断し、できる限り自由遊びの時間を作るよう心がけた。しかし、設定できなかったり、時間が少なすぎて遊び込めなかったりしたことが課題である。	
	④行事や活動を通して、子ども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3	3	2.5	・コロナ禍の中、ほとんど出来ないが、工夫して、リズムの縦割りや弁当の日の外での食事など交流できる場を設けた。 ・すすく・わくわくの散歩交流をしたい。	
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3	3	2.9	・部が違うと関わる機会も少なく、理解できていないところもある。遊びの中や職員同士の話し合いの場など交流をとっていききたい。	
3. 教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3	3	3.2	・話す・聞くだけでなく、書く(描く)、伝えるという部分について技術向上したい。 ・話す相手を見て、声のトーンや目線を大切にしている。	<p>・制度の問題もあると思うが、少人数教育の重要性を感じる。</p> <p>・自分の子どもへの対応しかわからないが、沢山の子どもたち一人ひとりに色々教えてくれていると感心した。反省点も書かれているので保育についてしっかり向き合っている先生が多いと感じた。</p> <p>・公平さは永遠の課題だと思うが、子どもの性格もあるので、今でも十分ではないかと思う。</p> <p>・自身の健康管理は当然のことと思う。⑤の子どもの温かな見取りができていことは大変素敵なことだと思う。小学校でも、こども園同様の見取りができるよう努力を重ねたいと思う。</p> <p>・③細かいところまで配慮していただいで有難い。保護者も安心できると思う。</p>
	②子どもや、保護者との対応には、公平さやかかさないように平等に接している	4	4	3.5	・ひいきなどはないが、1対1の関わりが多くなる子もおり、周りの子が何でその子は良いの?という場面もあるので、関わり方を見直したい。 ・常に明るく元気に対応できるように心がけたい。	
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	4	3	3.7	・健康管理をより注意して行っていききたい。自分のペースを把握し取り組んでいきたい。 ・健康・清潔・安全に心がけている。	

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		H30	R元	R2	
3. 教職員としての能力や良識、適正	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3	3	3.3	・挨拶・お礼や質問等、積極的にコミュニケーションを取るように努めた。 ・仕事を通じていろいろな世代とのコミュニケーションをとる機会を持てることに感謝している。
	⑤子どものさやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	4	4	3.8	・ちょっとした成長と一緒に喜ぶようにしてきた。ちょっとしたことに視点を当てていることを心がけている。 ・小さなことでも気付けるように努力している。たくさん褒めて認める事で一人ひとりの自信に繋がるよう努めたい。
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3	3	3.1	・特に今年はコロナ渦ということもあったので、新聞やニュースをみて情報を入れるよう心がけた。 ・「知ること」に興味を持って生活したい。
4. 保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	4	3	3.5	・怪我やトラブル時だけでなく、普段の様子なども保護者の方と話す時間がある際は話したり、連絡帳に書き留めたりすることで保護者の方とコミュニケーションを取れるように努めることができた。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3	3	3.3	・丁寧に話を聞き、保護者に寄り添った言葉をかけるようにしてきた。 ・正しい日本語が使えている自信がない。もっと言葉についても学ぶ努力が必要。
	③園児や保護者の個人情報情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	4	4	3.7	・時間の有効活用と個人情報保護を頑張っていきたい。
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	4	4	3.6	・上司や学年内の連絡・報告・相談を大切にできた。 ・言葉を選んで対応するように努めている。 ・すぐに連絡・報告・相談をしている。
5. 地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	3	3	2.9	・こども園になったことで、今の園長先生からはもちろん、先代の園長先生の「おもしろい」や教育方針についてもっと全職員で共有する必要がある。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2	3	2.7	・支援施設の利用など毎年変わること多く、複雑で勉強不足なところがある。理解できるように努めたい。 ・コロナ禍の中でも、お散歩をはじめ烏帽子山登山、駿河台ウォークラリーなど地域の素材を生かしている。
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2	3	2.8	・子育て支援が具体的にどういった活動内容なのか分からない ・広報や地域の広報誌に目をむけるよう心がけた。
					・今年度は保護者が園へ行く機会が減ったことも影響していると思うが、アンケート結果では、いつも(少人数ではあるが)園と保護者のコミュニケーション不足が見受けられる。様々なことの早期発見につながるので、この点に注力していきたい。 ・ちょっとした怪我でも迎えの時に声を掛けてくれるので信頼できる。外国のママたちも多い園なので、一人言葉が話せる(得意な)方がいたら、ママたちも助かるかも知れない。事務員さんもいつも丁寧に対応してくれて助かっています。 ・保護者への対応は大変だと思います。丁寧な対応を心掛けていると思うし、高い評価は素晴らしいと感じる。保護者との相互理解が大切ですね。 ・保護者との連携は教育のかなめだと思われる。その点で評価が一番高いというのは保護者対応を大切にしている様子が伺える。
					・地域交流という点ではまだ改善すべきことが有りそうだ。地域の自然、ひと、ものを生かした活動は郷土愛にも繋がり、地域活性化の一助となる。自然の遊びの重要性も再認識していただければと思う。 ・H30年と比べても先生方の意識が向上していて素晴らしいと思う。「すすく」と「わくわく」で幅広い教育になったことで園の教育方針も幅広いものになったと思うので、すすく部とわくわく部もお互いの教育に関して理解し合える場があるとよい。 ・駿河台には自然が沢山あるので散歩等でどどん外に出てよいと思う。特に0～3歳児には有効。 ・烏帽子山の話が大変興味深かった。我が子の経験においてもとても懐かしかった。 ・小中一貫教育では小と中の縦の接続ばかりでなく学校と家庭・地域との横の接続も重要視している。その辺、こども園とも協力してやっていきたい。 ・地域とのつながりはコーディネーターの存在が求められる。職員には業務量から難しい。人材の活用が大切である。

6. 安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.2	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をきっかけに意識して見守ることが出来ているので、今後も意識しながら生活し事故防止に努めたい。</li> <li>・今後の改善策をもっと職員全体で考えていく必要あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の避難訓練など先生方の努力が見えてくる。保護者も安心してお任せできていると感じた。</li> <li>・子どもたちは急に動くので、全員に目配りするのは大変ですが、意識を持っていてくれることで安心して子どもたちを預けられる。</li> <li>・再発防止策により継続的に改善に努めていただいていると思う。</li> <li>・雨の日の車の往来について宜しく願います。</li> <li>・過度に敏感になってしまうと教育が委縮してしまう。しかし、大切なことには変わりない。</li> </ul>
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意识・防災意識を高めている	3	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で実際に災害が起きた時の役割や動線について話し合い、共通理解をした。アクションカード作成したい。</li> <li>・安全チェック表にチェックのみで終わっている。</li> </ul>	
7. 研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3	3	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍だったが研修に行かせて頂き、とても勉強になった。リモート研修も増えているので利用したい。</li> <li>・研修がそもそもコロナで少なくなつて、外からの刺激・情報が少ない。他の園や違う保育について知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも研修を行うなど、園の前向きな姿勢が伝わってきた。今は幼い子どもでも情報の波にのまれそうな時代なので、先生方の意識の高さが鍵になるような気がしている。鬼滅ごっこを園が率先していいのか…。大人の目線では疑問が生じるが子ども目線ではそうでもないのかも知れない…。</li> <li>・次年度は少しでも先生方の勉強の場が増えるとうい。</li> <li>④先生方も園の事で多忙の中、他の活動も大変なことです。好きなことを見つけて日々の活力としていただけたらと思う。</li> <li>・“新しい生活様式”は、今後数年続くと思われる。そんな中、育児とはどうあるべきか、引き続き御検討をお願いします。</li> <li>・日誌の活用は、とても大事なことだと思う。くれぐれ也多忙にならないよう、日々の保育を頑張ってください。</li> <li>・教育目標である“自分で考え”を具現化するために、こども園ではどのような手立てを取られているのでしょうか。その辺りをまた教えていただければ有難い。</li> <li>・副園長のノウハウを生かしていただきたい。任せれば大丈夫だと思います。</li> </ul>
	②日々の実践を見合い検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌を通してその日を振り返ったり、その日の動きを細かく記入して見返すように残したりしている。</li> <li>・今年度は研修テーマに沿いながら保育が出来ていると思う</li> </ul>	
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3	3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからないこと、気になったことを積極的に聞くことで、自分の学びを深めていけるように努めた。</li> <li>・今後も、聞くことを意識し自分の考えの幅を広げていきたい。</li> </ul>	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	3	3	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育本はいくつか読んでみたが、コロナ禍で活動できていない。今後は保育のボランティアにも参加したい。</li> </ul>	

#### <こども園の教育・保育をより充実していくための御提言>

・以前から気になっているのは、外国にルーツを持つ保護者園児のケアだ。地域の力を利用してどうにかならないかと感じる。役員もその一つだが、地域、保護者同士で交流が持てたなら小学校へ上がっても円滑にいくのではないだろうか。

・今年度、先生方は人一倍子どもたちや御自身の健康に気を遣われたと思う。その中で、園での生活のあり方、行事等の内容形態も色々工夫していただき、子どもたちも例年以上に園で過ごすことのうれしさや楽しさを学べたのではないと思う。コロナの対応も、一保護者としてすごく適切で安心できたと思う。今年度は行事等を見直す良い機会になったと思うので、来年度も宜しく願います。

・園の教育目標である「明るく素直な子」にみんな成長してくれているなあと感じています。これからも新しいことを導入しつつ、先生方も明るく子どもと接し続けて欲しいです。

・小学校では“人、本、旅”という出口治明氏の言葉を紹介し、自分を豊かにするように話をしています。